

2022 年第 2 四半期および上半期決算

プレスリリース

パリ、2022 年 8 月 3 日

2022 年第 2 四半期と 2022 年上半期は基礎ベースで卓越した業績

2022 年第 2 四半期

収益は全事業で力強く拡大し、複数の事業部門が過去最高を記録したことにけん引され、**2021 年第 2 四半期比で 12.8% 増 (13.4% 増*)**

経費抑制が奏功し、経費率が改善 (単一破綻処理基金への拠出を除くと **61.8%**⁽¹⁾)

リスク費用は減少して **15** ベーシスポイント、デフォルトは限定的な水準

ロシア事業からの撤退⁽²⁾：損益への影響は税引前で **33** 億ユーロのマイナスとなったが資本への影響は極めて限定的

グループ基礎当期純利益は **15** 億ユーロ (報告ベースではマイナス 15 億ユーロ)

基礎収益性 (ROTE) は **10.5%**⁽¹⁾

2022 年上半期

グループ基礎当期純利益は 2021 年上半期比 16.3% 増の **31** 億ユーロ⁽¹⁾ (報告ベースではマイナス 6 億 4,000 万ユーロ)

基礎収益性 (ROTE) は **10.8%**⁽¹⁾

資本状況

2022 年 6 月末時点の普通株式等 Tier 1 比率は 12.9%⁽³⁾で、最大配分可能額を約 360 ベーシスポイント上回る

2021 年自社株買い計画を開始 (約 9 億 1,500 万ユーロ)

2022 年 6 月末時点の **2022 年配当準備金は 1 株当たり 1.44** ユーロ⁽⁴⁾

2025 年 ESG 目標を強化

2022~2025 年のサステナブルファイナンス目標額を **3,000** 億ユーロに設定

低炭素化戦略部門でグローバル・ベスト・バンクに選出 (ユーロマネー誌「2022 年アワード・フォー・エクセレンス」)

2025 年の財務目標

収益増加：**2021~2025 年の年平均成長率が 3% 以上**

経費率の改善：**62% 以下**

予想される収益性 (ROTE)：**10%**

バーゼル IV 実施後の目標とする普通株式等 **Tier 1 比率：12%**

ペイアウト政策：グループ基礎当期純利益の **50%** を維持 (自社株買いの形式による還元は最大 **40%**⁽⁵⁾)

(1) 基礎データ (会計データから基礎データへの移行については、財務情報の基準となる事項の第 5 項を参照)

(2) ロスバンクおよびそのロシア子会社の売却

(3) 段階的適用の比率 (全面適用の比率は 12.8%)

(4) 超劣後債および永久劣後債に係る利息控除後のグループ基礎当期純利益の 50% の分配に基づく。

(5) 超劣後債および永久劣後債に係る利息控除後。株主総会および規制当局の承認を必要とする。

本書中の注記号*はグループ編成の変更および為替レートの変動による影響の修正再表示後の数値を示す。

当グループの最高経営責任者であるフレデリック・ウデアは次のように述べています。

「2022年第2四半期は、様々な戦略的プロジェクトを集中的かつ規律正しく遂行した2年間の集大成となりました。当グループは、ビジネスモデルの簡素化と強靱性の向上に成功し、お客さまのニーズの変化およびデジタル技術やESGを巡る広範囲に及ぶ変革を支援するために事業変革を遂行し、高成長が期待できる事業に的を絞って投資してきました。2022年上半期には、収益の力強い成長と10%を超える基礎収益性（ROTE）を達成しました。また、ロシア事業からの撤退は、資本への大きな影響や当グループの戦略展開に支障をきたすことなく、推進することができました。こうした展開と業績動向により、当グループは、不透明性が増す環境であることは否めない短期的にも、また中期的にも、先行きに自信を持っています。2025年までには、現在進行中の数々の戦略および営業効率化の取り組みの成果を得て、魅力的な株主還元方針を維持しながら、目標コア Tier 1 資本比率 12%に則した10%の収益性を実現できると考えています。」

グループ連結決算

(単位：百万ユーロ)	2022年	2021年	増減		2022年	2021年	増減	
	第2四半期	第2四半期			上半期	上半期		
業務粗利益	7,065	6,261	+12.8%	+13.4%*	14,346	12,506	+14.7%	+14.8%*
営業費用	(4,458)	(4,107)	+8.5%	+9.6%*	(9,787)	(8,855)	+10.5%	+11.2%*
基礎営業費用 ⁽¹⁾	(4,590)	(4,225)	+8.6%	+9.6%*	(8,915)	(8,322)	+7.1%	+7.9%*
営業総利益	2,607	2,154	+21.0%	+20.7%*	4,559	3,651	+24.9%	+23.3%*
基礎営業総利益 ⁽¹⁾	2,475	2,036	+21.6%	+21.3%*	5,431	4,184	+29.8%	+28.4%*
純リスク費用	(217)	(142)	+52.8%	+52.4%*	(778)	(418)	+86.1%	+23.4%*
営業利益	2,390	2,012	+18.8%	+18.5%*	3,781	3,233	+17.0%	+23.2%*
基礎営業利益 ⁽¹⁾	2,258	1,894	+19.2%	+18.9%*	4,653	3,766	+23.6%	+29.2%*
その他の資産からの純損益	(3,292)	5	n/s	n/s	(3,290)	11	n/s	n/s
のれんの減損損失	4	2	+100.0%	+100.0%*	4	5	-20.0%	-20.0%*
法人所得税	(327)	(404)	-19.0%	-19.0%*	(680)	(687)	-1.0%	+48.7%*
当期純利益	(1,225)	1,615	n/s	n/s	(185)	2,562	n/s	n/s
うち非支配持分	257	176	+46.0%	+43.6%*	455	309	+47.2%	+45.7%*
グループ報告当期純利益	(1,482)	1,439	n/s	n/s	(640)	2,253	n/s	n/s
グループ基礎当期純利益 ⁽¹⁾	1,505	1,349	+11.5%	+11.0%*	3,079	2,647	+16.3%	+11.1%*
ROE	-12.0%	9.8%			-3.4%	7.5%		
ROTE	-13.5%	11.2%			-3.8%	8.6%		
基礎ROTE ⁽¹⁾	10.5%	10.4%			10.8%	10.2%		

(1) 特別項目およびIFRIC第21号による影響の線形化の修正再表示後

2022年8月2日に開催されたロレンツォ・ビーニ・スマギを議長とするソシエテ・ジェネラルの取締役会において、ソシエテ・ジェネラル・グループの2022年第2四半期および2022年上半期決算が精査された。

基礎データから公表データへの移行に伴う様々な修正再表示については、財務情報の基準となる事項の第5項を参照のこと。

2022年5月18日、当グループはロシアにおけるロスバンクとその保険子会社の売却を完了させ、秩序立った有効な方法でロシアから撤退した。この売却により、税引前で33億ユーロの損失が損益計

算書に計上されたが、当上半期にほぼ吸収され、グループ当期純利益でマイナス 6 億 4,000 万ユーロとなった。当四半期の残余資本への影響はマイナス 7 ベースポイントであったが、2022 年 6 月末時点の段階的適用の普通株式等 Tier 1 比率は 12.9%と引き続き安定水準にあった。

— 中略 —

連結貸借対照表

資産の部 (単位：百万ユーロ)	2022 年 6 月 30 日	2021 年 12 月 31 日
現金および中央銀行預け金	183,203	179,969
純損益を通じて公正価値で測定する金融資産	380,165	342,714
ヘッジ目的デリバティブ	21,851	13,239
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産	42,561	43,450
償却原価で測定する有価証券	19,376	19,371
償却原価で測定する銀行預け金	82,594	55,972
償却原価で測定する顧客貸出金	503,718	497,164
金利リスクをヘッジしたポートフォリオの再評価差額	(565)	131
保険事業の投資	162,621	178,898
税金資産	4,343	4,812
その他の資産	101,824	92,898
売却目的保有非流動資産	6	27
繰延利益配分	407	-
持分法適用投資	111	95
有形および無形固定資産	32,615	31,968
のれん	3,794	3,741
合計	1,538,624	1,464,449

負債の部 (単位：百万ユーロ)	2022 年 6 月 30 日	2021 年 12 月 31 日
中央銀行預り金	9,868	5,152
純損益を通じて公正価値で測定する金融負債	344,131	307,563
ヘッジ目的デリバティブ	32,133	10,425
発行債券	133,679	135,324
銀行預り金	147,871	139,177
顧客預金	519,431	509,133
金利リスクをヘッジしたポートフォリオの再評価差額	(6,148)	2,832
税金負債	1,609	1,577
その他の負債	120,517	106,305
売却目的保有非流動負債	-	1
保険契約関連負債	143,435	155,288
引当金	4,914	4,850
劣後債務	17,074	15,959
負債合計	1,468,514	1,393,586
株主資本	-	-

株主資本、グループ持分	-	-
発行済普通株式および資本準備金	21,735	21,913
その他の資本性金融商品	7,534	7,534
利益剰余金	34,676	30,631
純利益	(640)	5,641
小計	63,305	65,719
未実現・繰延キャピタル損益	1,277	(652)
資本、グループ持分小計	64,582	65,067
非支配持分	5,528	5,796
株主資本合計	70,110	70,863
合計	1,538,624	1,464,449

注 (1) 表および分析に含まれる数値の合計は、四捨五入の誤差により、公表されている数値と僅かに異なる場合があります。

(2) 当該期間の詳細（英語版）は、以下のホームページの「Investor」のセクションでご覧になれます。 ソシエテ・ジェネラルのホームページ：www.societegenerale.com

— 中略 —

ソシエテ・ジェネラル

ソシエテ・ジェネラルは欧州最大級の金融サービスグループです。多角的かつ総合的なバンキングモデルを採用し、強固な財務基盤とイノベーションにおける高い専門性を活かして、持続可能な成長を目標とする経営戦略を実行しています。ソシエテ・ジェネラルは、世界の地域社会と経済に有益な変化をもたらすことに尽力しており、責任ある革新的な金融ソリューションを通じて、日々お客さまとともにより良い持続可能な未来を築くことを目指しています。

ソシエテ・ジェネラルは、確固たる地位を築いている欧州を拠点に世界に広がるネットワークを通じて 150 年以上にわたり世界経済において重要な役割を果たしています。世界 66 カ国の拠点に 11 万 7,000 人を超える従業員を擁し、2,500 万の個人、法人、機関投資家のお客さまに様々なアドバイザー・サービスと顧客ニーズに合わせた金融ソリューションを提供しています。当グループは、以下 3 つの主力業務部門から構成されています。

- ・ フランス国内リテールバンキング部門：ソシエテ・ジェネラルの支店網とクレディ デュ ノール、ブルソラマのブランド名で、最先端のデジタル技術を駆使した総合的な金融サービスを多様な販売チャネルを通じて提供しています。
- ・ 国際リテールバンキング&保険及び金融サービス部門：アフリカおよび中東欧にネットワークを有し、それぞれの市場において主導的地位を有する専門性の高いビジネスを展開しています。
- ・ グローバルバンキング&インベスターソリューションズ部門：定評ある高い専門性、統合型ソリューションを主要な市場で提供しています。

ソシエテ・ジェネラルは、社会的責任投資指数の代表格である次の指数の構成銘柄です。ダウ・ジョーンズ・サステナビリティ・インデックス（欧州）、FTSE4Good（世界および欧州）、ブルームバーグ男女平等指数、リフィニティブ・ダイバーシティ&インクルージョン・インデックス、Euronext Vigeo（欧州およびユーロ圏）、ストックス・グローバル・ESG・リーダーズ・インデックス、MSCI 低炭素リーダーズ指数（世界および欧州）。

本プレスリリースの信頼性に疑義がある場合には、societegenerale.com のニュースルームのページの最下部をご覧ください。ソシエテ・ジェネラルが送信した公式プレスリリースは、ブロックチェーン技術により認証可能です。リンクにより文書の正当性をウェブページ上で確認することができます。

主な数値は 2022 年 6 月 30 日時点のものです。

詳しくは当グループのウェブサイト www.societegenerale.com またはツイッター@societegenerale をご覧ください。